

機能形態学 2

責任者・コーディネーター	神経科学講座 前田 智司 准教授		
担当講座・学科(分野)	神経科学講座		
対象学年	2	区分・時間数	講義 18 時間
期 間	後期		
単 位 数	1 単位		

・学習方針（講義概要等）

機能形態学では、薬理作用を理解する上で必要な薬物の標的となる生体の形態と機能（しくみと働き）に関わる基礎知識を習得する。これにより、薬理学、薬物治療学、医療薬学への学習基盤を確立し、臨床における疾病に対する薬物治療法の基礎を作る。機能形態学2では、泌尿器系、生殖系、内分泌系、感覚器系、血液・造血系の形態と機能を学ぶ。

・一般目標（GIO）

薬物が作用する生体のしくみ（形態）とはたらき（生理機能）を十分に理解し、種々の疾病の病態や体内における薬物の作用を学習するための基礎的知識を修得する。

・到達目標（SBO）

1. 泌尿器のしくみと尿生成機構を理解し、説明できる。
2. 生殖器官を含む内分泌器官の形態とホルモンの合成・分泌、および作用を理解し、説明できる。
3. 感覚器系の構造と機能を理解し、説明できる。
4. 血管系の構造と機能、リンパ系の構造と機能を理解し、説明できる。

・講義日程

（矢）東 102 1-B 講義室

月日	曜日	時限	講座(学科)	担当教員	講義内容
9/10	水	4	神経科学講座	前田 智司 准教授	器官の構造と機能（泌尿器系）
9/11	木	3	神経科学講座	前田 智司 准教授	器官の構造と機能（泌尿器系）
9/18	木	4	神経科学講座	前田 智司 准教授	器官の構造と機能（生殖系）
9/25	木	3	神経科学講座	前田 智司 准教授	器官の構造と機能（内分泌系）
9/29	月	4	神経科学講座	前田 智司 准教授	器官の構造と機能（内分泌系）
10/2	木	3	神経科学講座	前田 智司 准教授	器官の構造と機能（感覚器系）
10/9	木	3	神経科学講座	前田 智司 准教授	器官の構造と機能（感覚器系）

月日	曜日	時限	講座(学科)	担当教員	講義内容
10/20	月	4	神経科学講座	前田 智司 准教授	器官の構造と機能（骨格系）
11/6	木	3	神経科学講座	前田 智司 准教授	器官の構造と機能（血液・造血系）
12/4	木	2	神経科学講座	前田 智司 准教授	体器官の構造と機能（血液・造血系）
12/8	月	4	神経科学講座	前田 智司 准教授	体液調節（腎臓の機能と酸塩基平衡）
12/11	木	3	神経科学講座	前田 智司 准教授	体温調節（体内における熱産生と調節メカニズム）

・教科書・参考書等（教：教科書 参：参考書 推：推薦図書）

	書籍名	著者名	発行所	発行年
教	機能形態学	櫻田忍、櫻田司	南江堂 (定価 6,000 円)	2013
教	ぜんぶわかる人体解剖図	坂井建雄、橋本尚詞	成美堂 (定価 1,900 円)	2011

・成績評価方法

定期試験（70~80%）および小テスト、課題、受講態度(20~30%)から総合的に評価する。

・予習復習のポイント

シラバスを参考にして教科書を予習しておくこと。講義で用いたプリントおよび教科書を用いて復習しておくこと。

・授業に使用する機器・器具と使用目的

使用区分	機器・器具の名称	台数	使用目的
講義	パソコン	1	コンピューターで作成した講義資料を講義室のプロジェクターで映写し、講義に使用する。